

水利を利した運河は今も材料運搬として利用され現代は騒音、粉塵公害を避ける意味でメリットがあると思った。

ローマからナポリへ通ずる「太陽の道路」は昭和初期にムッソリーニが軍用道路として建設したものだが現在高速道路として使われている。恐らくムッソリーニは過去の栄光に輝くローマ帝国の再現を願うか、ローマへの道は世界に通ずるという志のもとに建設したものだろうが。彼なき後、立派にハイウェイとしてイタリア人に使用されており、その意味でも先見の明のあった人物と思う。

暑い太陽の国、ローマ、ナポリ、陽気なイタリア人に比較してロンドンは緑の多い保守的な古い都市、かつて七つの海を支配した大英帝国の首都として実に地味な街でイギリス人の服装までがグレイ、濃紺、黒色の背広着用とはお国柄とでもいすべきだろう。

滞在が僅か一日の故もあり強烈に印象に残るのはバッキンガム宮殿の衛兵交替儀式及び現在も貴族、ミドル、平民という階級制度が厳然として生きている事は奇異に感じられた。

しかも現首相のサッチャー夫人はミドル出身との事であり、低落の傾向にあったイギリス経済が北海油田開発によって、自給自足の見通しがついた為かポンドが強い傾向にある事が印象的であった。

最後に今回視察した欧州5ヶ国は現時点ではE C諸国の一員としてお互いに協力体制を取っているが過去の歴史を振りかえると、征服したり征服されたり或は侵略したり同盟を結んだりの攻防の繰り返しで陸続きの国家の存立の難しさを感じる。

日本のように周囲を海に遮ぎられた島国で、且つ単一民族には考えられない複合民族として大らかな大陸的な一面が受けられ、日本民族の短兵急な性急さは大いに反省せねばならない処だろう。

例えば、「ローマは一日にしてならず」という諺があるが、イタリア民族の性格もあるが、別な観点から眺めると僅かなものにこせこせしない大らかさの表れであり、日本民族も今少し他民族の血を受け入れて複合化し、目前の事しか考えない性急さを改めて100年後或は200年後の国家の大計を目論み誇り高い民族でありたいと願って報告を終ります。

第二団地組合員の顔ぶれ

第一団地満パイに伴う第二団地建設の補完事業は、昭和48年、49年に用地取得・造成を行い、50年度より組合員建屋の建築に入っております。途中、オイルショック等による不況の為入居が遅れておりましたが昨年より入居者が増え、余剰地もあと4区画を残すのみとなりました。ここに第二団地組合員の御紹介を致します。

昭和50年度建築

| | | | |
|---------|----|-------|-------|
| 共栄電気㈱ | 社長 | 高桑 清 | 電設資材卸 |
| 北陸ペイント㈱ | 社長 | 山田 修三 | 塗料卸 |
| ㈱立元商店 | 社長 | 立元 義雄 | 電設資材卸 |
| ㈱紙谷物産 | 社長 | 紙谷 邦藏 | 生鮮食品卸 |

昭和51年度建築

| | | | |
|---------|----|-------|----------|
| 塔島㈱ | 社長 | 塔島 健治 | 毛糸婦人衣料卸 |
| 三和通商㈱ | 社長 | 戸田 幹雄 | 建築資材卸 |
| ハットリ産業㈱ | 社長 | 服部 厚三 | ポリエチレン袋卸 |
| 福助㈱ | 社長 | 辻本 博 | 下着靴下卸 |

昭和52年度建築

| | | | |
|----------|----|-------|-----------|
| ㈱内外電機製作所 | 社長 | 丹羽 史朗 | 分電盤等電気関係卸 |
| ㈱賛協 | 社長 | 多田 成喜 | メリヤス婦人衣料卸 |

㈱たなかや 社長 田中 清隆 タオル作業衣卸

昭和53年度建築

| | | | |
|-------|----|------|-------|
| ㈱トオル | 社長 | 本橋 徹 | 婦人衣料卸 |
| ㈱ボニータ | 社長 | 伊登 真 | 婦人衣料卸 |

昭和54年度建築

| | | | |
|----------|----|-------|--------|
| 東洋精器工業㈱ | 社長 | 前中 哲 | タイヤ機械卸 |
| カトー産業㈱ | 社長 | 加藤 肇夫 | 体育用品卸 |
| 金沢シュランク㈱ | 社長 | 小森外次郎 | 毛織物縫締 |
| ㈱丸吉 | 社長 | 吉田 繁 | 建材卸 |

昭和55年度・昭和56年度建設予定

| | | | |
|----------|----|-------|--------|
| 岩崎㈱ | 社長 | 岩崎 直一 | 婦人服地卸 |
| 相川商店 | 店主 | 相川 徳雄 | 和装小物卸 |
| 大栄成型機械㈱ | 社長 | 高島 徳一 | 板金機械卸 |
| 大王製紙㈱ | 社長 | 井川伊勢吉 | 紙卸 |
| 南陽㈱ | 社長 | 中村 弘 | 建材卸 |
| 北国書林㈱ | 社長 | 嵯峨 逸平 | 書籍卸 |
| ㈱電陽社 | 社長 | 東 治郎 | 電気機器卸 |
| 丸石自転車㈱ | 社長 | 藤本 泰雄 | 自転車卸 |
| ㈱土谷九兵衛商店 | 社長 | 土谷 茂 | ロープ金物卸 |
| 小川商事㈱ | 社長 | 小川 三郎 | 婦人服地卸 |

協同組合 金沢問屋センター

第15号 1980年1月発行
協同組合 金沢問屋センター
発行者 小川 甚次郎
金沢市問屋町1丁目
電話 37-8585



激動の80年代初頭にあたって

協同組合 金沢問屋センター

理事長 小川 甚次郎

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。157社が揃って無事に越年され、ここに1980年代の初頭を新たな希望と決意をもってお迎えできることを心からお喜び申し上げます。

かえりみますと早いもので昭和38年10月に組合設立以来、幾多の困難を乗り越えて17年目の春を迎えるわけであります。さて、昨年は景気の回復が期待された年でありましたが、円安と産油国側の原油輸出制限等の影響により、私共企業にとっては全く期待はずれの苦しい年がありました。昨年は組合運営の最重点として、第二次補完事業の促進を取り上げ、皆様のご協力と関係ご当局のご指導とご援助を得て、新規組合員の加入に全力をあげたところ、新たに六企業が加入し、現組合員三企業より増坪申し込みもあって、余剰地は残り少なくなり、2、3の企業を除き本年度で店舗の建設を完了する予定になっております。

お蔭様でその他の組合事業も各委員会ごとに活発に実施されまして、組合運営も至極順調に進んでおり、大変喜ばしいことであります。経済情勢はあらゆる悪条件が加わり益々深刻の度を増し、前途は決して樂觀することができないものと推察されます。私共はこのような深刻な経済環境の中にはあって、今まで以上に共同意識を強め、各自の企業防衛と組合運営に一層の努力を傾注しなければならないと痛感しております。何とぞ皆様のご協力ををお願いする次第であります。

終りに組合員各位並びに従業員にとって、この新しく迎えた年が本当に良い年でありますように心から祈念いたします。

今始まる、80年代の金沢問屋センター —昭和55年新年互礼会—

昨年暮れから降雪をみるとなく新年を迎えた初顔合せの1月4日に、恒例の互礼会が問屋センター会館にて、多数の参加者のもとに、新春の喜びをもって、めでたく開催された。

新時代の幕あけは、当金沢問屋センターにおいても組合員各企業経営にとっても、80年代が制約の多い困難な時代であり、摸索の時代であるともいえる。参加者並びに来賓から、80年代の始まりにふさわしいご挨拶があった。

まず、金子専務理事の司会により、小川理事長から年頭にあたり、「79は政治、経済ともに混迷の時代であったが、'80を迎えた今日、団地結成後17年目、団地完成後13年目を迎えて、感無量である。組合員商社157社が、立派な団地を基に、景気回復を期待しつつ、厳しい経済環境に立ち向って、それぞれが企業体質の改善をはかり、強固な基盤をつくりあげて欲しい。」とされて、各企業の発展を祈願すると結んで挨拶があった。続いて来賓の中西知事から、157社が健勝で越年された喜びを冒頭に述べた後、「石油問題はもとより国内外に問題を山積している中で、景気の方はまあまあといえるかもしれないが、60年代、70年代とセンターは事故もなく立派に精進してきた。県、国をはじめ、センターには日頃お世話になっており、'80年代の入口ですが、これからもひき続き、県政に一生懸命頑張りたい」と力強いご挨拶があった。

ひきつづいて、江川市長は先に指名されたのも問屋センターのことについてもっとしっかりやれというお叱りであろうと思うと述べ、会場をわかせつつ、「17



年前のことと、今日の変り方、繁栄のしかたは目を見はるべきものがある。団結の力というか、企業に対する努力というか、役人であろうともこういった企業意識は持つべきである」と冒頭に述べつつ、「80年代は地方の時代とか文化の時代といわれるが、下水道処理公園整備、地方鉄道等まだまだ足りない」と反省していることを告白しつつ、会場から拍手がおこった中でさらに、今年のサル年にちなんで、「集団生活をボスのものに活動しているサルと同じように、業界の力、集団の力をセンター組合の精神の中に感じる」と結んで挨拶を終えた。さらに、金沢商工会議所宮太郎会頭より、本年3月に北陸自動車道が名神につながることから、岡山・広島の問屋センターと岐阜のそれを比較しつつ、「現象的にはプラス、マイナスの変化がおこる年であろう」と予想されつつ「金沢問屋センターがプラスの形で左右するものであると確信する。しかし地方にとって、これから厳しい要素が加わってくる中で、北陸自動車道の交通開通が、プラスにつながることを願う」と結ばれた。

四氏のご挨拶のあと、今井県会議員の音頭で乾杯をし、祝宴に移った。

出席された来賓の奥田氏、安田氏、島崎氏の各代議士の方々からもお祝詞の御挨拶を頂き、また森代議士他多数の方の祝電紹介の後、市議会議員の宇野氏の音頭で万才三唱をして、あらゆる現象にモヤがかかって80年代、この予測困難な厳しい時代に、金沢問屋センターが力強く歩んでいくことを誓って会を終えた。



年男大いに語る



見る、聞く、 大いに語る

株式会社
若林 保四

広報委員会からあなたは今年歳男だからちなんだ話を原稿にまとめて出して下さいと頼まれました。書くことの不得手な私ですが頑張ることにしました。昔から伝えられる見まい、聞くまい、語るまい、の猿にまつわるお話を申しのべて見たいと存じます。昨年春に中国10日間の旅の中で北京のみやげ物百貨店で石の彫刻にこの三猿が陳列されていました。何時の時代からの物語かは知る由もありませんが、恐らく中国から我が國へ伝來したのではないかと存じます。さて新年本日の現況はソ連軍のアフガン進攻に伴う問題、イランの米国大使館人質問題と此の後の石油供給並に価格問題、加えて円安、ドル高、公共料金、物価の値上り傾向などに伴う今後の企業経営の問題等々、山積する諸問題をかかえて80年代の第一年目を歳男で迎えました。そこで私は72才の申ですが見まい、聞くまい、語るまいを次に申し上げるように總べて逆に考える時代として本年は積極的に実行しながら時の流れを皆様と共に見守り、企業の前進を計りたいと存じます。

先ず第一に見まいを「大いに見る」に変えます。常に正しい決断をくだすために広い視野で鋭い目を業界及び国内、世界事情に向けます。第二には聞くまいを「大いに聞く」に変えます。常に的確な情報を集めることに努力し、あらゆる人のお話を拝聴し、又社会情勢、並に業界の動きに耳を傾けます。

次に第三は語るまいを「大いに語る」に変えます。大きく見、大きく聞き、そして私の決断したことを基本に業界、地域社会、問屋センター発展に役立つことならば大いに語り大いに伝達したいと思います。以上私の心構えばかり申し上げて恐縮ですが皆様のお許しを願うことにしてこれで終ります。



還暦を迎えて

明希株式会社
石黒 伝六

暦と申しますと多種多様であります明治3年に陰陽暦が廃止される迄、我が国では土御門家が代々50数代にわたり勅許を得て暦の作成をしており、我が国最古最高峰の暦の元祖であります。その元祖の安部晴明は唐の国を訪れた時、城刑山のふもとで伯道仙人を師として天文暦日の奥義を極め金鳥玉兔集をさづかって帰国した平安朝の大学者であります。

暦は10干と12支の組合せによって出来ておられます。10干とは甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸であり、12支とは子 丑 寅 卯 辰 巳 卯 未 申酉 戌 亥であり互いにこの順序で組合せになっております。大正13年は甲子の年であり、14年乙丑……10年目に甲が遷り甲戌、乙亥となり13年目には丙子という様に組合った年が遷って来るには60年を要する。この様に人の生れた暦年が60年目に遷って来るの還暦といでのある。大正13年の甲子は昭和59年に遷って来ます。甲子園球場の名称は大正13年に出来たので暦年にあやかって名付けたといわれる。私は1920年7月10日の生れで大正9年庚申の年であり、昭和55年は庚申の年で私は還暦を迎えたわけではなく、人生に一度の還暦年と考えられます。

人間は生をうけますと成長し、やがて結婚し子供を持ちますが、その子供が成長し己の後継者として育てるために働き努力するが、これを還暦までに完成させる事が出来る人は最高に幸福な人というべきだと思います。そして還暦後は10年か30年か40年か50年か60年か70年か80年か90年か100年か110年か120年か130年か140年か150年か160年か170年か180年か190年か200年か210年か220年か230年か240年か250年か260年か270年か280年か290年か300年か310年か320年か330年か340年か350年か360年か370年か380年か390年か400年か410年か420年か430年か440年か450年か460年か470年か480年か490年か500年か510年か520年か530年か540年か550年か560年か570年か580年か590年か600年か610年か620年か630年か640年か650年か660年か670年か680年か690年か700年か710年か720年か730年か740年か750年か760年か770年か780年か790年か800年か810年か820年か830年か840年か850年か860年か870年か880年か890年か900年か910年か920年か930年か940年か950年か960年か970年か980年か990年か1000年か1010年か1020年か1030年か1040年か1050年か1060年か1070年か1080年か1090年か1100年か1110年か1120年か1130年か1140年か1150年か1160年か1170年か1180年か1190年か1200年か1210年か1220年か1230年か1240年か1250年か1260年か1270年か1280年か1290年か1300年か1310年か1320年か1330年か1340年か1350年か1360年か1370年か1380年か1390年か1400年か1410年か1420年か1430年か1440年か1450年か1460年か1470年か1480年か1490年か1500年か1510年か1520年か1530年か1540年か1550年か1560年か1570年か1580年か1590年か1600年か1610年か1620年か1630年か1640年か1650年か1660年か1670年か1680年か1690年か1700年か1710年か1720年か1730年か1740年か1750年か1760年か1770年か1780年か1790年か1800年か1810年か1820年か1830年か1840年か1850年か1860年か1870年か1880年か1890年か1900年か1910年か1920年か1930年か1940年か1950年か1960年か1970年か1980年か1990年か2000年か2010年か2020年か2030年か2040年か2050年か2060年か2070年か2080年か2090年か2100年か2110年か2120年か2130年か2140年か2150年か2160年か2170年か2180年か2190年か2200年か2210年か2220年か2230年か2240年か2250年か2260年か2270年か2280年か2290年か2300年か2310年か2320年か2330年か2340年か2350年か2360年か2370年か2380年か2390年か2400年か2410年か2420年か2430年か2440年か2450年か2460年か2470年か2480年か2490年か2500年か2510年か2520年か2530年か2540年か2550年か2560年か2570年か2580年か2590年か2600年か2610年か2620年か2630年か2640年か2650年か2660年か2670年か2680年か2690年か2700年か2710年か2720年か2730年か2740年か2750年か2760年か2770年か2780年か2790年か2800年か2810年か2820年か2830年か2840年か2850年か2860年か2870年か2880年か2890年か2900年か2910年か2920年か2930年か2940年か2950年か2960年か2970年か2980年か2990年か3000年か3010年か3020年か3030年か3040年か3050年か3060年か3070年か3080年か3090年か3100年か3110年か3120年か3130年か3140年か3150年か3160年か3170年か3180年か3190年か3200年か3210年か3220年か3230年か3240年か3250年か3260年か3270年か3280年か3290年か3300年か3310年か3320年か3330年か3340年か3350年か3360年か3370年か3380年か3390年か3400年か3410年か3420年か3430年か3440年か3450年か3460年か3470年か3480年か3490年か3500年か3510年か3520年か3530年か3540年か3550年か3560年か3570年か3580年か3590年か3600年か3610年か3620年か3630年か3640年か3650年か3660年か3670年か3680年か3690年か3700年か3710年か3720年か3730年か3740年か3750年か3760年か3770年か3780年か3790年か3800年か3810年か3820年か3830年か3840年か3850年か3860年か3870年か3880年か3890年か3900年か3910年か3920年か3930年か3940年か3950年か3960年か3970年か3980年か3990年か4000年か4010年か4020年か4030年か4040年か4050年か4060年か4070年か4080年か4090年か4100年か4110年か4120年か4130年か4140年か4150年か4160年か4170年か4180年か4190年か4200年か4210年か4220年か4230年か4240年か4250年か4260年か4270年か4280年か4290年か4300年か4310年か4320年か4330年か4340年か4350年か4360年か4370年か4380年か4390年か4400年か4410年か4420年か4430年か4440年か4450年か4460年か4470年か4480年か4490年か4500年か4510年か4520年か4530年か4540年か4550年か4560年か4570年か4580年か4590年か4600年か4610年か4620年か4630年か4640年か4650年か4660年か4670年か4680年か4690年か4700年か4710年か4720年か4730年か4740年か4750年か4760年か4770年か4780年か4790年か4800年か4810年か4820年か4830年か4840年か4850年か4860年か4870年か4880年か4890年か4900年か4910年か4920年か4930年か4940年か4950年か4960年か4970年か4980年か4990年か5000年か5010年か5020年か5030年か5040年か5050年か5060年か5070年か5080年か5090年か5100年か5110年か5120年か5130年か5140年か5150年か5160年か5170年か5180年か5190年か5200年か5210年か5220年か5230年か5240年か5250年か5260年か5270年か5280年か5290年か5300年か5310年か5320年か5330年か5340年か5350年か5360年か5370年か5380年か5390年か5400年か5410年か5420年か5430年か5440年か5450年か5460年か5470年か5480年か5490年か5500年か5510年か5520年か5530年か5540年か5550年か5560年か5570年か5580年か5590年か5600年か5610年か5620年か5630年か5640年か5650年か5660年か5670年か5680年か5690年か5700年か5710年か5720年か5730年か5740年か5750年か5760年か5770年か5780年か5790年か5800年か5810年か5820年か5830年か5840年か5850年か5860年か5870年か5880年か5890年か5900年か5910年か5920年か5930年か5940年か5950年か5960年か5970年か5980年か5990年か6000年か6010年か6020年か6030年か6040年か6050年か6060年か6070年か6080年か6090年か6100年か6110年か6120年か6130年か6140年か6150年か6160年か6170年か6180年か6190年か6200年か6210年か6220年か6230年か6240年か6250年か6260年か6270年か6280年か6290年か6300年か6310年か6320年か6330年か6340年か6350年か6360年か6370年か6380年か6390年か6400年か6410年か6420年か6430年か6440年か6450年か6460年か6470年か6480年か6490年か6500年か6510年か6520年か6530年か6540年か6550年か6560年か6570年か6580年か6590年か6600年か6610年か6620年か6630年か6640年か6650年か6660年か6670年か6680年か6690年か6700年か6710年か6720年か6730年か6740年か6750年か6760年か6770年か6780年か6790年か6800年か6810年か6820年か6830年か6840年か6850年か6860年か6870年か6880年か6890年か6900年か6910年か6920年か6930年か6940年か6950年か6960年か6970年か6980年か6990年か7000年か7010年か7020年か7030年か7040年か7050年か7060年か7070年か7080年か7090年か7100年か7110年か7120年か7130年か7140年か7150年か7160年か7170年か7180年か7190年か7200年か7210年か7220年か7230年か7240年か7250年か7260年か7270年か7280年か7290年か7300年か7310年か7320年か7330年か7340年か7350年か7360年か7370年か7380年か7390年か7400年か7410年か7420年か7430年か7440年か7450年か7460年か7470年か7480年か7490年か7500年か7510年か7520年か7530年か7540年か7550年か7560年か7570年か7580年か7590年か7600年か7610年か7620年か7630年か7640年か7650年か7660年か7670年か7680年か7690年か7700年か7710年か7720年か7730年か7740年か7750年か7760年か7770年か7780年か7790年か7800年か7810年か7820年か7830年か7840年か7850年か7860年か7870年か7880年か7890年か7900年か7910年か7920年か7930年か7940年か7950年か7960年か7970年か7980年か7990年か8000年か8010年か8020年か8030年か8040年か8050年か8060年か8070年か8080年か8090年か8100年か8110年か8120年か8130年か8140年か8150年か8160年か8170年か8180年か8190年か8200年か8210年か8220年か8230年か8240年か8250年か8260年か8270年か8280年か8290年か8300年か8310年か8320年か8330年か8340年か8350年か8360年か8370年か8380年か8390年か8400年か8410年か8420年か8430年か8440年か8450年か8460年か8470年か8480年か8490年か8500年か8510年か8520年か8530年か8540年か8550年か8560年か8570年か8580年か8590年か8600年か8610年か8620年か8630年か8640年か8650年か8660年か8670年か8680年か8690年か8700年か8710年か8720年か8730年か8740年か8750年か8760年か8770年か8780年か8790年か8800年か8810年か8820年か8830年か8840年か8850年か8860年か8870年か8880年か8890年か8900年か8910年か8920年か8930年か8940年か8950年か8960年か8970年か8980年か8990年か9000年か9010年か9020年か9030年か9040年か9050年か9060年か9070年か9080年か9090年か9100年か9110年か9120年か9130年か9140年か9150年か9160年か9170年か9180年か9190年か9200年か9210年か9220年か9230年か9240年か9250年か9260年か9270年か9280年か9290年か9300年か9310年か9320年か9330年か9340年か9350年か9360年か9370年か9380年か9390年か9400年か9410年か9420年か9430年か9440年か9450年か9460年か9470年か9480年か9490年か9500年か9510年か9520年か9530年か9540年か9550年か9560年か9570年か9580年か9590年か9600年か9610年か9620年か9630年か9640年か9650年か9660年か9670年か9680年か9690年か9700年か9710年か9720年か9730年か9740年か9750年か9760年か9770年か9780年か9790年か9800年か9810年か9820年か9830年か9840年か9850年か9860年か9870年か9880年か9890年か9900年か9910年か9920年か9930年か9940年か9950年か9960年か9970年か9980年か9990年か10000年か10010年か10020年

不測の年代こそ チャンス



石川トヨペット株式会社
上野 英吉

「百歩先の見える者は狂人扱いにされ、五十歩先の見える者の多くは犠牲者となる。十歩先の見える者が成功者となり、現在を見ることが出来ない者は落伍者となる」と古くから言われているが、先を見ることがいかに難しいか過去をみれば歴然とする。そのため申年の「見ざる、聞かざる、言わざる」の逆で大いに勉強しなければと思っている。

激動の70年代であるということで始まった昭和45年から10年を経過し、振り返ってみると、まさに変化の多い年代だったと思う。

昭和55年から始まる1980年代は乱気流の年代とか不測の年代とか言われているが、確かに現在の国際情勢や、国内の政治・経済をはじめ色々な分野の状況をみれば、極めて難しい時代に入ってきたなと肌で感ずる此頃である。アメリカでは「不測の年代」ということで、「不測事態対応計画」というものが各企業で練られていると聞く、いくつかの不測の事態を想定して、今から対応策を考えて計画を作ておくそである。我々は仲々そのようなことも考えられず、何としても企業が存続、成長出来るミニマムを経営計画にして環境がどうあれ達成していきたいという型しか出来ない。経営計画とかビジョン作りというのは市場そのものより、こうありたいという希望を具体的に表現するものだと思う。

「いかなる時代においても、その中に樂観的因素を見、それを生かそうとした人が繁栄した。悲觀的条件に乗って自分の失敗も仕方がないという気になった人は失敗するであろう」(渡部昇一氏“歴史的樂觀主義のすすめ”)と言われるように、何が起るか分らない、そして厳しい80年代なるが故にチャンスがあるのだ、そして良い面を見つけて努力していきたい。自分の干支である今年が自分にとって充実した年であるために。

年男年頭所感



伊藤洋品株式会社
伊藤 淳蔵

1980年の幕あけ、私は年男、中年のスタートです。雪がない新年というものは何んとなく寂しいというか物足りない感がしました。新年を迎えるに当って、白銀の世界で祝える事ほど、新鮮な気持ちを持たしてくれる事はないのでしょうか。雪がなくて残念でした。

私はこのような感覚で本年のスタートを切った訳ですが、「石の上にも3年」という言葉がありますように、生まれて3度目の申年を迎えたという事は、やっと子供から大人の世界に足を踏み入れる事が出来たという感をいだいている次第です。

大人の世界に入るには、試験もいらざ年が経てば入会させていただけるよう、自分には誠にありがたいのですが、反面これから的人生は日一日、私を取り巻く環境全てが私の試験官だと思って頑張ってみたいと思っています。

なぜかと申しますと、自分自身というものがはっきり判かっていませんが、判っている部分も何点かあります。自分が自分にはれている点もあるわけですが、それにも増してまだまだ数多くのいやな点(他人には良い点と見えても)をなんとか、自分が自分にはれるような点にしたいと思って新年を迎えました。

こういう事を考えましたのは、いざ過去35年間を振り返ってみると、はたして自分は何を目的に人生を歩んで来たのか、又歩んで来た人生の道程で何ヶ所かの節目(私の人生に於ける小さな目的の達成)があったのですが、思い浮かぶ節目は、ほんの2、3ヶ所で、過去の自分の人生はなんと「ふんわり、ふんわり」とたださまよっているだけの、味けない無氣物のように思われてしかたがないのです。ですから先ほど述べました、「自分が自分にはれる点」を一つでも多く持ち合せる事が出来れば、それだけ自分にプラスになるのではないかと思われますので、例えば「遊ぶ事も一人前に出来なくて、一人前の仕事が出来るか」という言葉も、何か私に示唆してくれるようになります。

言葉でいう事は簡単ですが、行動が伴わないのが現実です。「口よりも手が早い」の言葉のように、理論よりも行動を伴なった人生を送るように努力したいと思っています。

欧洲流通機構視察報告書

東和工業株式会社
黒崎 猛

添付日程表及び視察団名簿の通り、金沢問屋センター近代化研究会の一員として欧洲5ヶ国を視察する機会を得て、所定の日程を無難に消化し、全員無事故で帰国出来た事は實に幸いでした。

今回の視察に際し、予め各都市担当のリポーターが定められていましたので甚だ拙いリポートであります私が感じたまま、見たままを我社の取扱商品に関連のある建設土木工事及び建設機械の実情に照して、更には乏しい知識しかありませんが、歴史的背景を主眼としてまとめてみました。

総じて、道路や建築構造物など建設工事現場の状況或は建設機械を日本と比較すると地震の無い為かも知れないが、非常に雑という感じは否めず、建設機械も日本の方が進歩している。日本の規格が随分厳しいと思った。

機会が無くて骨材プラント或は、生コンプラントを直接近づいて見学する事は出来なかったが、今回訪問5ヶ国の設備機械10ヶ所程眺める事が出来たのでドイツを除いて殆んど日本より遅れている感じで、フランクフルトで見た生コンプラントは日本と同程度のものと想定された。

現在、日本で使用されている鉱山機械はアメリカやドイツとの技術提携が多く、既に日本の技術が提携先のメーカーの技術を上回っており、上述の両国以外の欧洲諸国から殆んど取り入れるものが無い。亦、地震の無い事が建築構造物が簡単に出来る。経済力が伴わず日本ほど道路建設やビル建設が活発でない。歴史的背景もあり、欧洲諸国には古い建物を温存する傾向があるなど上述の通りの様々な理由から改革精神の旺盛な日本の建設工事関連の技術がどんどん伸びて欧洲諸国が遅れているものと思う。

而し、ドイツだけは別の感じでフランクフルトという一都市の視察で全体の判断は出来ないが、同市で見る限り、第二次世界大戦の戦火によって殆んど壊滅した事もあって、戦後近代的都市造りが行われ、日本の感覚に最も近い国であると思った。

更にフランクフルト周辺の高速道路網の整備は眼を

見張るものがあり、ドイツの安定した経済成長の一端が見えた。更に高速道路の新設に際しては、国有地の森林を利用して意のままに建設可能だと聞くと、日本の現状即ち用地買収、住民公害対策などの難渋ぶりを思うと隔世の感がある。

僅か10日間の駆け足旅行で物即ち経済力という面から欧洲諸国を論評する事は危険だがドイツ、オーストリアを除いて、彼等の日常生活、所得、住居、車、街並などから察するに日本人の現在の日常生活は随分ぜいたくで恵まれている事に感謝すべきだと思った。

私は米国を旅行していないので判断し難いが、恐らく現在、先進国といわれる諸国の中で日本、アメリカ、ドイツの三国が最も経済的に優位である事が今回の視察によって、はっきりした気がする。反面、欧洲諸国の伝統を重んじ歴史を重視する姿勢を日本人は再認識する必要がある。革新を好まず、古き良い物を生かそうとする民族意識は今後日本人として多いに見習うよう努めたい。

特にパリ市内の老朽化した建物を壊さずに、街並と調和の取れるように修復しながら、街並の保存に努める姿勢には敬意を表せねばならない。亦、ローマ市内のホテルの前で今を去る400年程前に仙台の伊達政宗の家臣、支倉常長が主君の命を受けてローマに至りローマ法王の洗礼を受けた際に泊ったホテルだと聞かされ、更に当時のままの姿で営業を続けているという説明に歴史の重味と伝統を感じさせられた。

支倉常長の勇気と志に敬意を表すると同時に江戸時代の日本武士の風俗即ちチョンマゲ姿と二本差の刀を挾さんだ人物を想像すると何かユーモラスなものを感じた。

今回訪問の都市は何れも長い歴史と伝統を有するが何れも水利を利して商業都市として発展を続けて来たものでロンドンのテムズ河、パリのセーヌ河など観光の名所でもある。その河畔に昔と同じく水利を利して現代的な生コンプラントや骨材貯蔵サイロが、建設されているのには驚いた。日本ならばやばやと撤去命令が出る所だろうが、観光と建設機械が混然として生きている。